

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学	
科目名 (サブタイトル)	[23] アグリビジネスの新しいカタチ (多様化したアグリビジネスを学ぶ)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 教授 吉田 康徳 (計4名)	
授業概要	近年の農業は、SDGsなどに適応したアグリビジネスの創出が期待されています。本講座では、テクノロジーや未利用の資源やエネルギーが融合することで創出される、多様化したアグリビジネスを最新の事例を踏まえ講義します。			
授業方法 と留意点	いまの現場が専門的なことがらでも、わかり易く講義します。			
授 業 計 画				
【募集定員人数50名】先着順で募集を締め切ります				
< 7月30日(土) 9:30~11:00 > 准教授 酒井 徹				
第1講：「SDGsと持続的農業」 2015年の国連サミットでSDGsが採択されました。農業には、生産力の持続性ととともに、環境や生物多様性への配慮が求められています。これを受けた欧米や日本の動向と課題について考えます。				
< 7月30日(土) 11:10~12:40 > 准教授 林 芙俊				
第2講：「切り花ダリアのイノベーション」 農業におけるイノベーションには、IT産業などとは異なる特徴があります。その具体例として、秋田県からはじまったダリアのイノベーションを取りあげ、農業におけるイノベーションを促進する方策について考えます。				
< 7月30日(土) 13:20~14:50 > 助教 佐藤 勝祥				
第3講：「秋田の魅力が詰まった赤身牛肉を創り出そう！」 秋田県に散らばっている未利用飼料資源を探索しながら、日本短角種牛が本来持っている魅力・能力を発揮させることで、秋田県の魅力が詰まった赤身牛肉の創出に取り組んでいます。研究紹介を交えながらお話しします。				
< 7月30日(土) 15:00~16:30 > 教授 吉田 康徳				
第4講：「秋田版スマート農業によるトマトの周年栽培」 秋田のような寒冷地では、温暖地と比較して栽培条件が厳しいため、トマトの周年栽培は困難とされ、それに関連した技術開発も遅れているのが現状です。そこで、未利用の自然エネルギーとスマート農業を組み合わせた新しい日本海型のトマト栽培を紹介します。				
その他	7/30(土)は昼食を持参ください。(昼食時間：12:40~13:20)			
テキスト	講義内容をまとめたテキストを配付します。			
参考文献	授業の中で紹介します。			
関連科目	生物学、畜産学、野菜栽培学、農業経営学、社会経済論、グリーンライフ			
開講日時	7/30(土)			
	9:30~11:00	11:10~12:40	13:20~14:50	15:00~16:30
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)			
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス 電話：018-872-1529 (平日9:00~17:00) E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp			